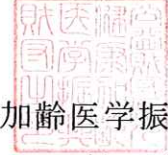


2021年1月12日

一般社団法人 日本サルコペニア・フレイル学会
理事長 殿

公益財団法人 健康加齢医学振興財団
理事長 井村 裕 夫



謹啓

新型コロナウイルス禍の時下においても、ご清祥にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、本財団の事業ならびに運営につきまして、格別のご協力を賜り有難うございます。

さて、公益財団法人 健康加齢医学振興財団(旧 公益財団法人 成人血管病研究振興財団)では公益事業の一つとして、人、とくに患者を対象とした加齢に伴って起こる疾患に関する研究(patient-oriented research)で顕著な業績を挙げた国内の研究者、または研究グループに「井村臨床研究賞」を贈り顕彰するとともに、これらの研究で注目すべき成果を挙げている若手研究者を奨励する褒賞として「井村臨床研究奨励賞」を贈呈します。

対象となる研究は、加齢に関係して起こる心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの病因や病態生理の解明、新しい診断・治療・予防法の開発、疫学的研究、基礎研究の成果を臨床応用に展開する橋渡し研究(translational research)などであり、我が国における臨床研究の推進を目的としております。

つきましては、このたび全国の医科大学学長、医学部長、医系研究機関の長等に2021年の公募推薦依頼をしたところでありますが、貴台からも学会の関係各位に周知いただくとともに、両賞に相応しい評価の高い研究業績を挙げている候補者を御推薦いただきたく、同封の公募要項により御案内いたしますので何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、先生のご健勝と関係研究の発展をお祈り致しております。

敬白

同封書類

「井村臨床研究賞」、「井村臨床研究奨励賞」公募要項
(公財)健康加齢医学振興財団のリーフレット

2021年

井村臨床研究賞(第16回)の公募

現在全世界で高齢化が進み、心血管系疾患、糖尿病・肥満などの内分泌代謝疾患が増加し、対策が急がれています。これらの疾患は、遺伝素因と環境因子の相互作用によって起こる多因子疾患で、胎生期から小児期までの早期環境の影響も大きいことが知られており、ライフコース全体にわたるヘルスケアの重要性が明らかになっています。

当財団はこうした広い視野に立って、この分野で優れた成果を挙げた研究者またはグループを顕彰するため、賞を公募いたします。

井村臨床研究賞

趣 旨 胎生期から高齢までの加齢に伴う身体機能の変化の機構と、それに関連して起こる心血管系疾患、内分泌・代謝疾患などの成因、病態、診断、治療などに関する人を対象としてなされた臨床研究(橋渡し研究、疫学研究も含む)で優れた業績を挙げた国内の研究者またはグループに贈呈します。

贈 呈 数 1名または1研究グループ

内 容 (1) 賞状 (2) 賞牌 (ゴールド・メダル)
(3) 副賞 (研究助成金 200 万円)

締 切 2021年4月20日(郵送の場合は、当日消印分を認めます)

応募規定 (1)他薦に限る (2)研究分野：上記趣旨のとおり
(3)推薦書：以下の5項目の資料を財団規定の用紙により作成し、財団事務局に送付願います。

なお、規定用紙は当財団のホームページ(<https://www.rfha-jpn.org>)で開示していますのでダウンロードして下さい。

- ① 履歴事項 ② 推薦理由 ③ 研究業績概要
④ 主要文献リスト ⑤ 主要論文の別刷(5編以内、コピー可)

審 査 審査は当財団の井村賞選考委員会で行い、8月上旬に結果を通知する予定です。

授 与 式 2021年12月 京都市で開催の健康加齢医学シンポジウム会場で行います。又、そのシンポジウムでは井村臨床研究賞受賞記念特別講演をお願いする予定にしております。

既受賞者 受賞者名と受賞研究課題は、当財団ホームページに開示しています。

その他お問合せは下記まで。ただし、審査経過等のお問合せには応じかねます。

公益財団法人 健康加齢医学振興財団

〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86番地 国際健寿ビル1F

TEL:075-761-2381 FAX:075-761-2382

E-mail: info@jvdrf.or.jp

2021年

井村臨床研究奨励賞(第16回)の公募

現在全世界で高齢化が進み、心血管系疾患、糖尿病・肥満などの内分泌代謝疾患が増加し、対策が急がれています。これらの疾患は、遺伝素因と環境因子の相互作用によって起こる多因子疾患で、胎生期から小児期までの早期環境の影響も大きいことが知られており、ライフコース全体にわたるヘルスケアの重要性が明らかになっています。

当財団はこうした広い視野に立って、この分野で意欲的な研究を進めつつある若い研究者を支援するため、奨励賞を公募します。

井村臨床研究奨励賞

趣 旨 胎生期から高齢までの加齢に伴う身体機能の変化の機構と、それに関連して起こる心血管系疾患、内分泌・代謝疾患などの成因、病態、診断、治療などに関する人を対象としてなされた臨床研究(橋渡し研究、疫学研究も含む)において、注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の若手研究者に対し、その将来の発展を期待して贈呈します。

贈呈数 2名以内

内 容 (1) 賞状 (2) 賞牌(シルバー・メダル) (3) 副賞(研究助成金30万円)

締 切 2021年4月20日(郵送の場合は、当日消印分を認めます)

応募規定 ①応募には、財団様式による推薦書の添付が必要です。規定用紙は当財団のホームページ(<https://www.rfha-jpn.org>)で開示していますのでダウンロードして下さい。

②候補者は、2021年3月31日現在で45歳未満であること。

審 査 審査は当財団井村賞選考委員会で行い、8月上旬に結果を通知する予定です。

授与式 2021年12月 京都市で開催の健康加齢医学シンポジウム会場で行います。

既受賞者 受賞者名と受賞研究課題は、当財団ホームページに開示しています。

その他お問合せは下記まで。ただし、審査経過等のお問合せには応じかねます。

公益財団法人 健康加齢医学振興財団

〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86番地 国際健寿ビル1F

TEL:075-761-2381 FAX:075-761-2382

E-mail: info@jvdrf.or.jp

役員等名簿 (五十音順)

評議員

岩井一宏	京都大学大学院医学研究科長・医学部長(医学・生理学)
上島弘嗣	滋賀医科大学アジア疫学研究センター特任教授(医学・社会医学)
寒川賢治	国立循環器病研究センター名誉研究所長(医学・生化学)
葛谷英嗣	康生会武田病院顧問(医学・内科学)
斎藤能彦	奈良県立医科大学教授(医学・内科学)
高橋伯夫	関西医科大学名誉教授(臨床検査学)
鍋島陽一	(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター老化機構研究部長(医学・病理学)
平田結喜緒	(公財)兵庫県予防医学協会・健康ライフプラザ参与(医学・内科学)
南野直人	国立循環器病研究センター研究所・客員研究員(医学・生化学)

理事

理事長	
井村裕夫	日本学士院院長(医学・内科学)
副理事長	
家森幸男	武庫川女子大学国際健康開発研究所所長(医学・病理学)
常務理事	
中尾一和	京都大学大学院医学研究科特任教授(医学・内科学)
佐野安宏	(公財)健康加齢医学振興財団事務局長
理事	
北村惣一郎	国立循環器病研究センター名誉総長(医学・外科学)
成宮周	京都大学医学研究科メディカル・イノベーション・センター長(医学・薬理学)
橋本信夫	(地独)神戸市民病院機構理事長(医学・外科学)

監事

西村周三	京都先端科学大学経済経営学部学部長(経済学・医療経済学)
吉村 學	京都府立医科大学名誉教授(医学・臨床検査学)

選考委員会

岡本賞選考委員会委員長	
清野進	神戸大学大学院医学研究科特命教授(医学・分子医学)
井村賞選考委員会委員長	
伊藤裕	慶應義塾大学医学部教授(医学・内科学)
助成選考委員会委員長	
並河徹	鳥根大学医学部長(医学・病理学)

昭和62年9月3日

文部大臣より財団法人設立認可

平成23年4月1日

内閣総理大臣認定 公益財団法人

平成30年1月1日

財団名を「成人血管病研究振興財団」から
「健康加齢医学振興財団」に変更

『公益財団法人 健康加齢医学振興財団へのご寄附に対する税法上の優遇措置について』

本財団が実施する加齢による疾患に関する学術研究等への支援助成や研究者の褒賞、学術講演会開催等の公益目的事業の趣旨に賛同し、それら公益事業を円滑に推進するための資金として寄附された寄附金については、本財団が内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けた特定公益増進法人でありますので下記のとおり税法上の優遇措置を受けられます。

個人の場合

本財団は、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けるとともに税額控除対象法人の証明も得ておりますので、本財団への寄附金については、所得税の確定申告にあたって「税額控除」又は「所得控除」どちらかの控除を選択することができます。

(1) 税額控除

定められた算式により税額から直接控除されるため、小口の寄附でも大きな減税効果があります。

(2) 所得控除

課税所得が所得控除後の税率となるため、所得税率の高い高所得者にとって減税効果が大きい場合があります。

また、上記控除を受けた時には、府県民税や市町村民税も軽減措置の対象とする自治体があり、相続税に関しても相続財産による寄附は、非課税の取り扱いを受けることができます。

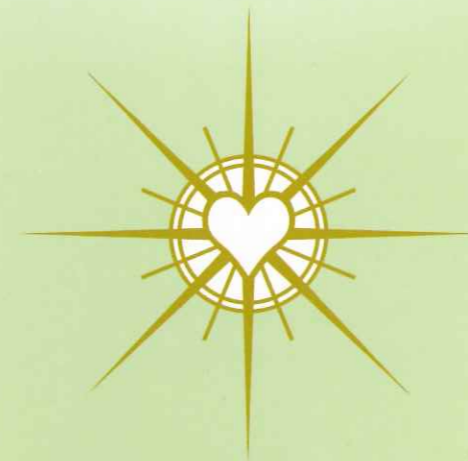
法人の場合

本財団への寄附金は、特定公益増進法人に対する寄附金として、一般寄附金の損金算入限度額と「別枠」で損金算入限度額に相当する金額まで損金に算入できます。



公益財団法人 健康加齢医学 振興財団

THE JAPAN RESEARCH FOUNDATION
FOR HEALTHY AGING



〒606-8413

京都市左京区浄土寺下馬場町86番地
国際健寿ビル1F

TEL: 075-761-2381

FAX: 075-761-2382

URL <http://www.disclo-koeki.org/02b/00412/index.html>

目的と事業



理事長 井村裕夫

創設以来およそ30年にわたって、皆様にご支援頂いてきた「成人血管病研究振興財団」は、平成30年1月をもって名称を「健康加齢医学振興財団」と改め、新しく出発を致しました。

この30年を振り返ってみますと、全世界で高齢化が進み、高齢者に多い心血管系疾患、糖尿病、肥満、認知症、虚弱状態などが著しく増加して、深刻な社会問題となっています。これらの疾患は遺伝素因と環境因子が相互作用して、長い経過の後に発症するものがありますが、最近になって胎生期を含む早期の環境が影響することも明らかになり、生涯を通してのヘルスケアの重要性が指摘されるようになって参りました。健康な長寿は、こうした積み重ねによって、初めて実現できるものであります。

そこで弊財団では、ライフコース全体にわたって健康を守り、疾患への対応を考えていくという視点からの活動を支援していきたいと考えています。

基礎、臨床の両面ですぐれた成果を挙げた研究者の顕彰、若い研究者の支援、学術集会の助成などを通して、現在の医学が直面している課題の克服に向けて微力を尽くしていく所存であります。

公益事業の概要

(一) 研究褒賞事業 岡本国際賞

(International Okamoto Award)

健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢に関する心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの成因、病態、予防に関する基礎的研究に顕著な成果をあげられた国際的評価の高い研究者1名に対し、本賞を贈呈し顕彰しています。

〔賞状、ゴールドメダル、副賞（研究助成金 100万円）〕



岡本研究奨励賞

(Young Investigator Okamoto Award)

健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢に関する心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの成因、病態、予防に関する基礎的研究で、注目すべき優秀な研究成果をあげている40才未満の研究者2名以内に対し、その将来の研究展開を期待して奨励のため本賞を贈呈しています。

〔賞状、シルバーメダル、副賞（研究助成金 30万円）〕



井村臨床研究賞

(Clinical Research Imura Award)

健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢に関連して起こる心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの成因、病態、診断、治療、予防に関して、人を対象としてなされた臨床的研究で、すぐれた成果を挙げた国内の研究者1名、又は1研究グループに本賞を贈呈し顕彰しています。

〔賞状、ゴールドメダル、副賞（研究助成金 200万円）〕



井村臨床研究奨励賞

(Young Investigator Imura Award)



健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢に関連して起こる心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの成因、病態、診断、治療、予防に関して、人を対象として、または人の材料を用いてなされた臨床的研究で、優秀な研究業績をあげている45才未満の国内の研究者2名以内に対し、その将来の研究展開を期待して奨励のため本賞を贈呈しています。

〔賞状、シルバーメダル、副賞（研究助成金 30万円）〕

(二) 学術研究支援助成事業

研究支援助成事業

超高齢化社会を迎えたわが国の状況をふまえて健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢による疾患の病因、診断、治療、予防等に関する基礎研究又は臨床研究に対して助成を行い、その研究成果の継続的な進捗を支援することにより、わが国の医学の発展に寄与することを目指しています。



学術集会開催支援助成事業

健康な加齢（胎生期からの成長・成熟・老化）と加齢に関する心血管系疾患、内分泌代謝疾患などの研究に関連した学会学術集会、シンポジウム等において、研究者が各々の研究成果を公開し、学術情報の交換を行うことによってそれらの研究が促進し、発展することを期待して学術研究集会等の開催に対する支援助成を行い、医学の振興に寄与すると共に、その業績が社会に役立つよう協力しています。



(三) 学術講演会等開催事業



毎年、研究者を対象としながら医療・福祉関係従事者のみならず一般市民にも開かれたシンポジウムを開催し、健康な加齢と加齢に関する疾患に関する基礎研究、臨床研究において国内の代表的な研究者による学術講演および心理、法律、経済、化学、哲学等の領域で有名な学識経験者による医療、福祉に関連する特別講演を実施します。

また、褒賞の授与式会場では、受賞者による受賞記念講演や研究紹介も行い、最新の医学研究について情報公開に努めています。

(公財)健康加齢医学振興財団の事業活動



事業の内容、規模などの詳細は、財団のホームページでご覧ください。